

様式第10号(2)(様式第9号(3))【添付書類】
 賃借権の設定等を受ける者の農業経営の状況等
 (個人)

父, 母, 申請者, 妻, 長男, 次男
 次男は会社勤めを想定

整理番号	機構で記入	氏名又は名称	水戸 太郎		年齢	50歳	農作業従事日数	300日			
賃借権の設定等を受ける土地の面積 (A) m ²	賃借権の設定等を受ける者が耕作又は養畜の事業に供している農用地の面積 (B) m ²	賃借権の設定等を受ける者の主たる経営作目 (C)	賃借権の設定等を受ける者の世帯員の農作業従事及び雇用労働力の状況(D)			賃借権の設定等を受ける者の主な家畜の飼育状況(E)		賃借権の設定等を受ける者の主な農機具の所有の状況(F)			
配分計画案の面積			世帯員	農業従事者 (うち15歳以上65歳未満の者)		雇用労働力(年間延べ労働日数)	種類	数量	種類	数量	
農地	7,480	農地	男	農業専従者		750人日	—	—	トラクター	1台	
採草放牧地		採草放牧地	女	農業補助者					主として農業に従事する者	田植機	1台
その他		採草放牧地		従として農業に従事する者					従として農業に従事する者	コンバイン	1台
パート等人員の従事日数 (農業従事者欄に人数は含まず)											

- (記載注意) (1) 賃借権の設定等を受ける者の農業経営の状況等の記載は、同一公告に係る計画書中、いずれかにその記載があれば、他はその記載を要しない。
 (2) (A)欄は、同一公告に係る計画によって、賃借権又は使用賃借権の設定、移転が2つ以上ある場合には、それぞれを合算して面積を記入する。
 なお、「その他」には、混牧林地、農業用施設の用に供される土地の別にその面積を記載する。
 (3) (C)欄は、主たる経営作目を「水稻」、「果樹」、「野菜」、「養豚」、「養鶏」、「酪農」、「肉用牛」、「施設園芸」等と記載する。
 (4) (D)欄の「農業専従者」とは、自家農業労働日数が年間おおむね150日以上のを、「農業補助者」とは、自家農業労働日数が年間おおむね60~149日の者をいう。
 (5) 賃借権の設定等を受ける者の農業経営の状況等の記載事項の全てが農地台帳により整理されている場合には、農地台帳番号〇〇、氏名又は名称、年齢、農作業従事日数のみの記載にかえることができる。

様式第10号(2)(様式第9号(3))【添付書類】

賃借権の設定等を受ける者の農業経営の状況等

(農地所有適格法人)

整理番号		農地所有適格法人の名称	株式会社 ○○アグリ												
賃借権の設定等を受ける土地の面積 (A) m ²	賃借権の設定等を受ける農地所有適格法人が耕作又は養畜の事業に供している農用地の面積 (B) m ²	賃借権の設定等を受ける農地所有適格法人の事業の状況 (C)						賃借権の設定等を受ける農地所有適格法人の主な家畜の飼育状況 (F)	賃借権の設定等を受ける農地所有適格法人の主な農機具の所有の状況 (G)						
		事業の種類													
		農畜産物名	関連事業等の内容		左記以外の事業の内容										
現在	現在		現在												
水稻	米加工品の販売		なし												
権利取得後	権利取得後		権利取得後												
水稻	米加工品の販売		なし												
事業の実施状況及び事業計画												種類	数量	種類	数量
農業			左記以外の事業									—	—	トラクター 田植機 コンバイン 乾燥機	1台 1台 1台 1台
3年前	10,000,000円		3年前												
2年前	12,000,000円														
1年前	12,000,000円														
初年度	15,000,000円														
2年目	15,000,000円														
3年目	20,000,000円														
<p>・既存法人は、農業委員会への毎年の報告と今後の予定(売上高)を記入</p> <p>・新規の場合は初年度以降のみ</p>															
農地						30,000									
採草放牧地						—									
その他						—									
賃借権の設定等を受ける農地所有適格法人の構成員の状況 (D)						賃借権の設定等を受ける農地所有適格法人の業務執行役員の状況 (E)									
氏名 名称	議決権 又は 株式の数	法人への農地等の 権利設定・移転		年間農業従事日数		法人と構成員との取引 関係等の内容	氏名	住所	年間農業従事日数						
		権利の 種類	面積 m ²	前年実績	見込み				前年実績	見込み	前年実績	見込み			
A	100	使用貸借	30,000	250	250	—	A	d	250	250	150	200			
B	100	—	—	250	250	—	B	d	250	250	150	200			
C	50	—	—	250	250	—									
雇用労働力(年間延日数)		(従業員数×年間労働日数) 人日													

- (記載注意) (1) 賃借権の設定等を受ける者の農業経営の状況等の記載は、同一公告に係る計画書中、いずれかにその記載があれば、他はその記載を要しない。
- (2) (A)欄は、同一公告に係る計画によって、賃借権又は使用貸借権の設定、移転が2つ以上ある場合には、それぞれを合算して面積を記入する。
なお、「その他」には、混牧林地、農業用施設の用に供される土地の別にその面積を記載する。
- (3) (C)欄の「農畜産物名」欄には、法人の生産する農畜産物のうち、粗収益の50%を超えると認められるものの名称を記載する。なお、いずれの農畜産物の粗収益も50%を超えない場合には、粗収益の多いものから順に3つの農畜産物の名称を記載する。
- (4) (C)欄の「関連事業等の内容」には、法人の農業に関連する事業(①農畜産物を原料又は材料として使用する製造又は加工、②農畜産物の貯蔵、運搬又は販売、③農業生産に必要な資材の製造、④農作業の受託)、農業と併せ行う林業、農事組合法人が行う共同施設の設置又は農作業の共同化に関する事業を記載する。
- (5) (C)欄の「権利取得後」欄には、権利を取得しようとする農地又は採草放牧地(以下「農地等」という。)を耕作又は養畜の事業に供することとなる日を含む事業年度以後の状況を記載する。
- (6) (C)欄の「農業」欄には、法人の農業(関連事業等を含む。以下「農業」という。)の売上高の合計を記載し、それ以外の事業の売上高については、「左記以外の事業」欄に記載する。また「1年前」から「3年前」の各欄には、その法人の決算が確定している事業年度の売上高の農用地利用配分計画の公告前3事業年度分をそれぞれ記載し(実績のない場合には空欄)、「初年度」から「3年目」の各欄には、権利を取得しようとする農用地等を耕作又は養畜の事業に供することとなる日を含む事業年度を初年度とする3事業年度分の売上高の見込みをそれぞれ記載する。
- (7) (D)欄の「議決権又は株式の数」欄には、株式会社にあつては株式(議決権のあるものに限る。)の数を記載する。
- (8) (D)欄の「前年実績」欄には、農用地利用配分計画の公告の日を含む事業年度の前事業年度において法人の行う農業に常時従事している構成員の農業への年間従事日数を記載し、「見込み」欄には、権利を取得しようとする農用地等を耕作又は養畜の事業に供することとなる日を含む事業年度における農業への年間従事日数の見込みを記載する。
なお、「年間農業従事日数」には、農業部門における労務管理や市場開拓等に従事した日数も含まれる。
- (9) (D)欄の「法人と構成員との取引関係等の内容」欄には、例えば、「法人から生産物を購入している食品会社」、「法人に農作業を委託している農家」、「法人に肥料を販売する肥料会社」、「法人と特許権の専用実施権の設定を行っている種苗会社」等と記載する。
- (10) (E)欄の「住所」欄には、農事組合法人にあつては理事、合名会社、合資会社又は合同会社にあつては業務執行権を有する社員、株式会社にあつては取締役(以下「業務執行役員」という。)が生活の本拠としている場所を記載する。
- (11) (E)欄の「年間農業従事日数」欄の「前年実績」欄には、農用地利用配分計画の公告の日を含む事業年度の前事業年度において法人の行う農業に常時従事している業務執行役員の農業への年間従事日数を記載し、「見込み」欄には、権利を取得しようとする農用地等を耕作又は養畜の事業に供することとなる日を含む事業年度における農業への年間従事日数の見込みを記載する。
なお、「年間農業従事日数」には、農業部門における労務管理や市場開拓等に従事した日数も含まれる。
- (12) (E)欄の「年間農作業従事日数」欄の「前年実績」欄には、農用地利用配分計画の公告の日を含む事業年度の前事業年度において業務執行役員が行った農業への年間従事日数の内数として、その行った耕うん、播種、施肥、刈取り等の農作業に従事した年間日数を記載し、「見込み」欄には、権利を取得しようとする農用地等を耕作又は養畜の事業に供することとなる日を含む事業年度において業務執行役員の行うこととなる農業への年間従事日数の内数として、その行った耕うん、播種、施肥、刈取り等の農作業に従事する年間日数の見込みを記載する。

様式第10号(2)(様式第9号(3))【添付書類】

賃借権の設定等を受ける者の農業経営の状況等

(農地所有適格法人以外の法人)

整理番号		法人の名称		株式会社 海山建設									
(A) m ²		(B) m ²		(C)		(D)				(E)		(F)	
						氏名	役職名	住所	年間農業従事日数				
		前年実績	見込み	種類	数量				種類	数量			
農地	7,480	農地	—			水稻	A	代表取締役社長			D	—	60
採草放牧地	—			B	専務理事		E	—	60				
その他	—			C	常務理事		F	—	250				
雇用労働力(年間延日数)		(従業員数×年間労働日数)人日		役員または責任を有する使用人のうち1人以上が、法人が行う耕作に常時従事すること。									

- (記載注意)
- (1) (A)欄は、同一公告に係る計画によって、賃借権又は使用貸借権の設定が2つ以上ある場合には、それぞれを合算して面積を記入する。
 - (2) (C)欄の「賃借権等の設定を受ける法人の主たる生産作物」欄には、法人の生産する農畜産物のうち、粗収益の50%を超えると認められるものの名称を記載する。なお、いずれの農畜産物の粗収益も50%を超えない場合には、粗収益の多いものから順に3つの農畜産物の名称を記載する。
 - (3) (D)欄の「住所」欄には、取締役、理事、執行役、支店長等の役職に就いている者で、実質的に業務執行の権限を有し、地域との調整役として対応できる者が生活の本拠としている場所を記載する。
 - (4) (D)欄の「年間農業従事日数」欄の「前年実績」欄には、農用地利用配分計画の公告の日を含む事業年度の前事業年度において法人の行う農業に常時従事している業務執行役員の農業への年間従事日数を記載し、「見込み」欄には、権利を取得しようとする農地等を耕作又は養畜の事業に供することとなる日を含む事業年度における農業への年間従事日数の見込みを記載する。
 なお、「年間農業従事日数」には、農業部門における労務管理や市場開拓等に従事した日数も含まれる。